



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

上場会社名 株式会社ミマキエンジニアリング
 コード番号 6638 URL <https://ir.mimaki.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 池田 和明
 (氏名) 清水 浩司
 TEL 0268-80-0058
 配当支払開始予定日 2019年12月5日

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	27,363	3.4	551	63.7	449	63.4	181	76.4
2019年3月期第2四半期	26,455	5.1	1,520	35.9	1,225	22.1	769	16.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 477百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 597百万円 (57.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	6.11	
2019年3月期第2四半期	25.62	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	53,364	17,599	32.7
2019年3月期	58,463	19,010	32.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 17,431百万円 2019年3月期 18,828百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		7.50		7.50	15.00
2020年3月期		7.50			
2020年3月期(予想)				7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,450	1.8	1,450	51.8	1,150	56.5	350	79.2	11.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	32,040,000 株	2019年3月期	32,040,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	2,545,767 株	2019年3月期	1,375,767 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	29,803,362 株	2019年3月期2Q	30,040,210 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(偶発債務)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、不透明な状況で推移いたしました。米中貿易摩擦は長期化の様相を呈し、当事者国のみならず世界中のサプライチェーンに不安と混乱を与え、英国のEU離脱問題の混迷や米国・イランの対立激化は、グローバルレベルで投資マインドの低下や景況感の悪化をもたらしております。国内経済においても、深刻化する人手不足に加えて消費税引き上げを執行した政治面や、円高懸念を抱える市場面において多くの不安材料が内在し、世界経済と同様に楽観できない状況で推移いたしました。

このような中、当社グループは、独自のラスタ技術(インクジェット等)とベクター技術(カッティング等)を柱とした市場志向の製品開発により、デジタルオンデマンド生産のマーケットリーダーを目指し、「M1000」の経営スローガンのもと年商1,000億円を目標に持続可能な成長に向けて鋭意取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は273億63百万円(前年同期比3.4%増)、営業利益は5億51百万円(同63.7%減)、経常利益は4億49百万円(同63.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億81百万円(同76.4%減)となりました。

当第2四半期累計における主要な為替レート(2019年4月～2019年9月の平均レート)は、1米ドル=108.63円(前年同期110.27円)、1ユーロ=121.41円(前年同期129.84円)で推移し、総じて為替相場の影響は利益を押し下げる要因(特にユーロ)となっております。なお、第1四半期(4～6月)と比較した当第2四半期(7～9月)の業績は、総じて円高が進行したにもかかわらず売上高・利益とも拡大しております。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(日本・アジア・オセアニア)

日本・アジア・オセアニアにおける売上高は134億39百万円(前年同期比19.4%増)であります。日本においては、前年10月に連結子会社化したアルファードesignグループの売上高を加算しておりますが、この影響を除いても前年同期比で増収を確保しております。中国においても、これまでは減収基調が続いておりましたが、ようやく現地通貨ベースでは前年同期比で増収となっております。その他のアジア・オセアニアでも前年同期比で高水準の増収を確保しております。

(北・中南米)

北・中南米における売上高は61億71百万円(同2.5%減)であります。北米市場は引き続き好調に推移しておりますが、中南米市場においては不安定な政局や為替相場の影響を受けて減収となり、全体として前年同期比微減となっております。

(欧州・中東・アフリカ)

欧州・中東・アフリカにおける売上高は77億52百万円(同12.6%減)であります。為替相場が前年同期より円高ユーロ安で推移したことに加え、欧州主要国での売上高が減少し、前年同期比で減収となっております。

当第2四半期連結累計期間における市場別の売上高は以下のとおりであります。

	売上高(千円)	構成比率(%)	対前期増減率(%)
SG市場向け	11,193,309	40.9	△5.9
IP市場向け	7,500,348	27.4	△10.7
TA市場向け	2,856,780	10.4	4.5
FA事業	1,810,930	6.6	—
その他	4,002,412	14.7	16.8
合計	27,363,780	100.0	3.4

また、当第2四半期連結累計期間における品目別の売上高は以下のとおりであります。

	売上高(千円)	構成比率(%)	対前期増減率(%)
製品本体	11,912,645	43.5	△2.8
インク	9,427,871	34.5	1.4
保守部品	1,931,879	7.1	△6.4
その他	4,091,384	14.9	43.9
合計	27,363,780	100.0	3.4

(SG市場向け)

SG市場向け製品における売上高は111億93百万円(前年同期比5.9%減)であります。主力製品の1つである溶剤系インクを搭載した「JVシリーズ」の売上高が減少し、前年同期比で減収となっております。

(IP市場向け)

IP市場向け製品における売上高は75億円(同10.7%減)であります。5月に発売開始した大型機種の新製品「JFX200-2513EX」の売上高は拡大したものの、主力の小型機種「UJFシリーズ」の売上高が減少し、前年同期比で減収となっております。

(TA市場向け)

TA市場向け製品における売上高は28億56百万円(同4.5%増)であります。低ランニングコストと長時間連続運転が可能な新製品「TS55-1800」を3月から発売開始した効果により、前年同期比で増収となっております。

(FA事業)

ファクトリーオートメーション装置事業(カスタム機器)や基板実装装置事業(異形部品挿入装置、防湿剤の塗布装置)を中心とした、アルファードesignグループが手掛ける事業の総称であります。FA事業における売上高は18億10百万円ですが、米中貿易摩擦や半導体市場の減速等の影響により、現段階の売上高進捗率は計画を下回っております。

なお、当第2四半期連結累計期間において減益となった主な要因は、以下の4点と認識しております。

- ① SG市場とIP市場の競争環境激化
- ② 売上高に連動するべき経費コントロールの遅れ
- ③ FA事業の受注減少に伴う採算悪化
- ④ 総じて円高に推移した為替レートによる利益率の低下

これらに対する今後の対策につきまして、

- ①短期的には、競争力の高い製品(SG市場向け/環境に優しいUV硬化インクを搭載した「UCJVシリーズ」や省人化&効率化と環境負荷低減をテーマとした「CJV300-130plus」等、IP市場向け/小型の主力機種「UJFシリーズ」や大型主力機種「JFX200-2513EX」等)を軸に販売促進策を展開してまいります。中期的には顧客ニーズを捉えた新製品を市場投入することで成長を加速してまいります。
- ②売上高に見合った経費のコントロールに努めてまいります。
- ③当社グループにアルファードesignグループが加わったメリット(技術シナジー)を活用した新製品開発等も視野に入れ、収益貢献できる体制を構築してまいります。
- ④インクの消費地生産を中期的に拡大する等により、為替感応度の低減を図ってまいります。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2019年5月10日付に公表した業績予想を修正しております。詳細は、2019年11月8日付公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,994,422	8,309,274
受取手形及び売掛金	9,442,738	9,443,037
商品及び製品	12,292,865	12,755,498
仕掛品	1,584,892	1,634,694
原材料及び貯蔵品	4,145,331	3,998,961
その他	2,689,769	2,377,379
貸倒引当金	△28,793	△54,146
流動資産合計	42,121,226	38,464,699
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,225,831	4,062,664
土地	3,262,745	3,262,745
その他(純額)	3,235,535	3,083,864
有形固定資産合計	10,724,112	10,409,273
無形固定資産		
のれん	1,441,724	1,255,679
その他	956,577	817,009
無形固定資産合計	2,398,301	2,072,689
投資その他の資産		
投資有価証券	69,552	69,463
繰延税金資産	1,504,652	1,306,821
その他	2,088,824	1,462,314
貸倒引当金	△443,665	△420,306
投資その他の資産合計	3,219,364	2,418,293
固定資産合計	16,341,777	14,900,257
資産合計	58,463,004	53,364,956
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,726,025	3,843,143
電子記録債務	4,626,156	3,795,653
短期借入金	11,054,710	9,816,630
1年内返済予定の長期借入金	2,615,481	2,096,229
リース債務	101,157	87,261
未払法人税等	327,606	126,886
賞与引当金	881,035	732,652
役員賞与引当金	40,673	6,885
製品保証引当金	1,008,315	888,687
その他	4,510,291	4,006,923
流動負債合計	28,891,454	25,400,951
固定負債		
長期借入金	9,564,594	9,346,330
リース債務	338,609	349,579
繰延税金負債	72,326	70,960
退職給付に係る負債	452,687	463,130
資産除去債務	47,600	49,054
その他	85,094	85,094
固定負債合計	10,560,911	10,364,149
負債合計	39,452,365	35,765,101

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,357,456	4,357,456
資本剰余金	4,617,040	4,617,040
利益剰余金	11,509,976	11,461,944
自己株式	△618,501	△1,329,614
株主資本合計	19,865,971	19,106,826
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	977	591
為替換算調整勘定	△1,068,880	△1,701,689
退職給付に係る調整累計額	30,617	25,537
その他の包括利益累計額合計	△1,037,285	△1,675,560
新株予約権	12,088	19,804
非支配株主持分	169,864	148,785
純資産合計	19,010,639	17,599,855
負債純資産合計	58,463,004	53,364,956

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	26,455,497	27,363,780
売上原価	13,670,186	15,531,565
売上総利益	12,785,310	11,832,215
販売費及び一般管理費	11,264,427	11,280,355
営業利益	1,520,882	551,859
営業外収益		
受取利息	17,345	18,120
受取配当金	350	619
受取保険金	2,731	106,613
仕入割引	14,366	14,279
その他	30,588	56,845
営業外収益合計	65,383	196,477
営業外費用		
支払利息	78,119	135,607
売上割引	44,537	41,573
為替差損	144,735	60,277
持分法による投資損失	84,255	23,981
その他	8,708	37,838
営業外費用合計	360,357	299,279
経常利益	1,225,908	449,058
特別利益		
固定資産売却益	13,063	12,640
その他	-	1,288
特別利益合計	13,063	13,928
特別損失		
固定資産売却損	1,455	697
特別損失合計	1,455	697
税金等調整前四半期純利益	1,237,517	462,289
法人税、住民税及び事業税	416,392	100,454
法人税等調整額	64,846	192,209
法人税等合計	481,239	292,663
四半期純利益	756,278	169,625
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△13,332	△12,368
親会社株主に帰属する四半期純利益	769,610	181,994

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	756,278	169,625
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△859	△386
為替換算調整勘定	△173,318	△669,683
退職給付に係る調整額	△6,064	△5,079
持分法適用会社に対する持分相当額	21,811	28,164
その他の包括利益合計	△158,430	△646,985
四半期包括利益	597,848	△477,359
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	608,898	△456,281
非支配株主に係る四半期包括利益	△11,050	△21,078

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年12月13日及び2019年6月14日開催の取締役会決議に基づく自己株式の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が711,113千円増加し、当第2四半期連結会計期間期末において自己株式が1,329,614千円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、第1四半期連結会計期間において連結子会社であった株式会社アルファテックは、連結子会社である株式会社アルファシステムズによる吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(偶発債務)

当社の連結子会社であるMIMAKI BRASIL COMERCIO E IMPORTACAO LTDA(以下、ミマキブラジル社)は、当社インクジェットプリンタの輸入に関して、ブラジル国の税務当局から調査を受け、2件合計84,920千ブラジルレアルの追徴課税通知を受け取りました。ミマキブラジル社は当局からの指摘内容を不服とし、2018年9月に追徴課税通知を受けた44,494千ブラジルレアルに関しては税務訴訟の準備を進めており、2018年11月に追徴課税通知を受領した40,425千ブラジルレアルに関しては同年12月に不服申し立てを行っております。

ミマキブラジル社は、本追徴課税は根拠がないものとする考え方に基づき、適切に対処してまいります。従って、現時点で当社グループの業績への影響額を見積もることは困難であります。

なお、本件は2019年3月期第3四半期に発生したものであり、新たに発生したものではありません。